



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	祝辞
Author(s)	上野, 昌美; Ueno, Masami
Citation	地域経済経営ネットワーク研究センター年報, 1, 3-3
Issue Date	2012-03-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/48812
Type	other
File Information	REBN_1_003.pdf



祝 辞

北海道大学監事，経済学部同窓会会長 上野 昌美

ご紹介いただきました北海道大学経済学部同窓会長をしております上野でございます。本日は、地域経済経営ネットワーク研究センターの設立、大変おめでとうございます。北大経済学部同窓会から心からお祝いを申し上げたいと思います。

センターの設立趣旨を拝見いたしますと、東京への一極集中というものを排して、地域が国内外の他の地域と直接つながっていくことが大切だという観点から、その研究拠点を北大の経済学研究科に置くということをごさいますして、大変時宜にかなったセンターが立ち上がると、大いに期待しております。方向性あるいは研究テーマというものについても、既にお決まりになっているようでございますので、今後は、北大経済学研究科でなければできない、そういった研究活動ないしは研究成果というものが、一日も早く我々の目に見える形であられることを期待しております。

このような有益な活動に対しまして私ども卒業生、同窓会一同、何らかの形で協力していきたいと考えておりまして、昨今、同窓会報第27号になりますが、発行しました際に、町野経済学研究科長からご寄稿いただきまして、このセンターの設立の趣意や目的について詳しく会員に紹介していただいたところでございます。

ネットワークという点では、私ども北大の経済学部同窓会も一つのネットワークではないかというふうに考えております。社会学者でグラノヴェッターという人がおりますが、この人の有名な論文がありまして、そこで使っている言葉を使わせてもらいますならば、北大経済学部同窓会は「弱い絆」のネットワークと言えるのではないかと思います。家族とかそういう「強い絆」で結ばれたネットワークではなくて、北大の経済学部を卒業したという緩い、あるいは弱いきずなで結びついているネットワークなのではないかなというのが、私の経済学部同窓会についての一つの見方でございます。そういう「弱い絆」のネットワークが強みを発揮するというのが、先ほどの論文の趣旨になってまいりますが、これについては割愛いたします。私ども北大経済学部同窓会は現在会員が約8,700名ほどございます。このほかに修士、博士、それから会計専門職大学院の修了者もおりますので、非常に多彩な人材を擁している同窓会と思っております。この「弱い絆」のネットワークに、今回立ち上がりました北大経済学研究科の研究センター、これがつながると多分、それなりの大きな力になるのではないかと考えております。そしてまた、我々同窓会のほうから見ても、この新しい研究センターに接合することによって、会員一人一人に別の形の光が当たるのではないかと、そういう効果も期待しております。

仏教で、インドラの網というたとえがございます。ご存じの方も多いと思いますが、この網というのは、ネットワークのいわば視覚的なヒントとして結構すぐれているのではないかと私は考えております。このインドラの網の結び目の一つ一つ、それには宝珠がついております。宝珠というのは宝石です。我々

同窓会員という宝石に、研究センターができることによって新しい角度から光が当たり、それできらきら輝いていくということもあるのではないかと考えております。そのようなことを通じて、私ども経済学部同窓会のネットワークに揺らぎが生じて、その揺らぎというものがネットワークの組み替えにつながり、それが活性化につながる可能性があるのではないかと考えております。大変抽象的な比喻ですが、この辺のところを研究センターの先生方と、経済学的あるいは経営学的にどうなのだという事で議論させていただければうれしいなと思っております。

今日ここにご参集いただいた方々は、各種のネットワークの代表者という方が多いかと思えます。それぞれのネットワークの方々が、この新しくできた研究センターのネットワークにつながることで、いわば新しいネットワークがまた一つできるわけですから、このネットワーク自体が大きな力の源泉になる可能性があるのではないかと期待しております。そしてまた、このネットワークに参加することによる揺らぎによってネットワーク自体が活性化していく可能性も出てくるのではないかということなどを考えた上で、大変恐縮でございますけれども、ここにご参集いただいた皆様に今度新しくできました研究センターへのご協力をぜひ賜りたいと、同窓会のほうからもお願いしておきたいと思えます。

これからは著名な講師の方々のパネルディスカッションとなりますので、私も皆様と一緒に拝聴させていただきたいと思っております。その過程で、今回の研究センターのあるべき姿とかこれからの方向性、そういったものに具体的な理解を深めていきたいと思っております。

最後になりましたが、今回設立されました地域経済経営ネットワーク研究センターというものが、北海道大学の学問分野に新しい地平を開き、なおかつ地域に貢献していくような、そういう存在になることを祈念いたしまして、同窓会からのご挨拶にさせていただきます。本日は本当におめでとうございました。